

京都市立高校各校の教職員をつなぐ情報紙

市高ニュース

2022年4月4日 2022年度 第1号

京都市立高等学校教職員組合

TEL075-771-1328 fax075-752-2148

E-mail : kyotoshiko@sky.plala.or.jp

一緒に

誰もが安心して働き学べる京都市立高校をつくっていきましょう

2022年度が始まりました。卑劣極まりない侵略戦争が行われています。コロナ禍はまだ終息の兆しが見えません。世界はどこへ向かうのでしょうか。私たちの足元では、京都市は独自賃金カットを行い、長時間過密労働はなかなか減りません。職場の民主主義は守れているでしょうか。新学習指導要領実施と観点別評価導入への対応によりさらに私たちの負担が増えることが危惧されます。私たちに共通する願いは、命を大切に作る世界をつくること、安心して働き続けられること、生徒を真ん中に置いた教育ができる条件を確立することではないでしょうか。是非一緒に要求実現を求めていきましょう。今年度もよろしくお願いします。

京都市立高等学校教職員組合

執行委員長 村尾竹郎

「36協定」の有効期限は1年、職場代表の選出を！

「36協定」は6月に発効し、有効期限は1年です。この協定なしに、事務職員に対して時間外勤務をさせると違法行為となり、使用者に罰則(6ヶ月以下の懲役または30万円以下の罰金)が適用されます。事業場の代表と労働者の代表の間で「36協定」を結べば、協定の範囲内での時間外勤務には罰則が適用されません。ただし使用者は時間外労働に対して割増賃金を支払わなければなりません。

「36協定」の対象となるのは事務職員ですが、協定を結ぶための職場代表者は、非常勤講師も含む全教職員で選ばなければなりません。労働条件の改善にむけて団結した組織である組合は、過半数代表者の選出に積極的にとりくみます。市教協と市教委は、「協定締結後も実態把握を行い、時間外勤務の縮減に向けて、検証・協議を組合との間で行う」などの10項目について確認しています。「無理な時間外勤務はないか」「割増賃金は適正に支払われているか」など、「実態把握」を行うため、様々な声を組合にお寄せください。

5月1日はメーデー

1886年5月1日、当時一日に12時間から14時間も働かされていたアメリカの労働者が、8時間労働の要求を掲げて一斉にストライキに踏み切りました。

このたたかいで、18万人の労働者が8時間労働を勝ち取り、その他20万人の労働者が労働時間短縮を獲得しました。しかし資本家はこの協約を反故にします。

そこでアメリカの労働組合は、1890年5月1日にもう一度ストライキをすることを決め、また第二インターナショナル結成大会ではアメリカの労働者に連帯して世界の大都市で一斉に8時間労働日を求めたデモをやろうと決めました。

そして、世界各国でストライキや集会、デモが行われ、世界中の労働者の団結の力で8時間労働制を勝ち取っていきました。

5月1日は、労働者が団結してこそ使用者と対等になり、生活環境を改善できるということを示した、記念の日です。

ウクライナの市民への人道支援カンパ

前回の市高ニュースでお知らせしたように、標記のカンパにとりくんでいます。分会にカンパ袋を用意しました。4月16日(土)にいったん集約して全教に届けますが、その後もとりあえず4月中はカンパを受け付けます。多くのみなさんのご協力をお願いします。

勤務条件の改善、教育環境の改善に、組合はなくてはならない存在です。「一人はみんなのために」、ぜひご加入ください。

組合加入届

学校名()

私は()年()月より

京都市立高等学校教職員組合に加入します。

氏名()印

私たちの願いを実現できる京都府知事を選ぼう

4月10日は京都府知事選挙の投票日、必ず投票に行きましょう

「選挙」は府民の願いを果たすための制度です

自治体選挙は、住民が、そこに暮らす人々の願いに応じてそれを実現してくれる代表者を選ぶ、とても大切なものです。「誰がなっても変わらない」と選挙を棄権することは、結果として自分で自分のクビを締めることになりかねません。

ぜひ、候補者の話を聞き、チラシやマニフェストを見比べて、投票に行きましょう。インターネットで候補者の話を聞くこともできます。

今回の選挙で何が問われているのか

今回の府知事選挙には、梶川氏(新人)と西脇氏(現職)の2人が立候補しています。京都新聞は3月27日から5回連続で、「多くの府政課題に2人はどう対応しようとしているのか。主な争点についての考え方や立ち位置を尋ね」ました。

① 新型コロナウイルス対策：保健所を増やすべきか？

梶川氏「そう思う」。23ヶ所あった保健所が8ヶ所に統廃合されていたことで、医療が受けられないまま放置されるなどの事態を招いた。当面2003年以前の12ヶ所に戻し、府民的な議論を経て、人口規模に合った個所数をめざす。

西脇氏「どちらとも言えない」。2004年に振興局を12箇所から4個所に再編した際に、保健所は7箇所に集約化・拠点化した。新型コロナウイルスへの対応でも、速やかに応援体制を構築することができている。

② 観光客数の実績をコロナ禍以前の2千万人(京都市除く)より増やすべきか？

梶川氏「全くそう思わない」。人流抑制が求められ、観光関連事業者と従業者、とりわけ非正規労働者が大きな影響を受けた。過度な数値目標を掲げ、富裕層観光とインバウンド吸収に傾斜したこれまでの観光政策は、見直すべきである。

西脇氏「どちらとも言えない」。一部に集中していた観光客の府域への周遊を図るとともに、地域の活性化につながる持続可能な観光を実現していく。

③ 子育て支援にもっと予算を配分すべきか？

梶川氏「そう思う」。京都府の合計特殊出生率は1.22でワースト4位。全国では当たり前の中学校給食が37.7%の喫食率にとどまる。子どもの医療費は中学校卒業まで通院も無料とし学校給食費の半額補助などにとりくむ。

西脇氏「どちらとも言えない」。「子育て環境日本一」については、切れ目ない支援を実施してきた。時間単位の年休制度を導入する企業の割合が全国平均を上回るなど少しずつ成果が出てきている。

④ 北山エリアにさらなるにぎわいが必要？

梶川氏「全くそう思わない」。貴重な府民財産を金儲けの道具にするのではなく、関係者の知見を生かした整備を図るべきである。

西脇氏「どちらとも言えない」。個々の施設の整備について検討を進めながら、施設間連携で魅力あふれる交流エリアとなることを目指していく。

⑤ 京都市を財政支援すべきか？

梶川氏「全くそう思わない」。今日の財政困難の主要な原因は、地下鉄東西線の建設費を倍に膨張させた失政などにある。不要不急の大型事業の見直しこそ必要。北陸新幹線延伸計画の中止を含め、財政運営の優先順位を転換することで府の役割を果たしたい。

西脇氏「どちらとも言えない」。京都府も大変厳しい財政状況に置かれており、府市がこれまで以上に効率的・効果的な行政運営を進めていくことが重要である。

以上は、両候補の回答の概要なので、詳しくは京都新聞の記事をご覧ください。

ぜひ、投票に行きましょう

府民の願いに応える府政をつくるためには、どちらの候補者が自分の考えに近いかを見極め、周りの人たちとも話し合っ、より良い候補者を選びましょう。

当日に用事のある方は、区役所で「期日前投票」ができます。

自転車事故による賠償保険は、京教済「くらしの賠償責任共済」へ

自転車事故においては、9000万円を超える加害者賠償の例などが報道されています。京教済の「くらしの賠償責任共済」への加入を訴えます。「くらしの賠償共済」では、「自転車で高級車に出合い頭で軽く接触して15万円賠償」「公園を散歩中に飼い犬同士が衝突して相手の飼い犬が骨折し、20万円賠償」のようなケースの報告・相談も受けています。

加入の申し込みは、市高教組 Tel075-771-1328、または京教済 Tel075-752-9150 まで